

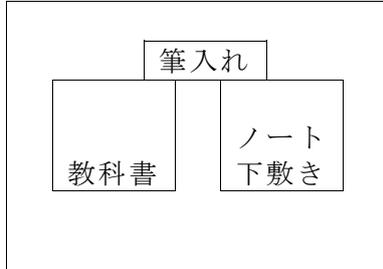
「豊田スタンダード」 学習の約束

1 授業前・授業の始まり

- (1) 休み時間のうちに次の学習の準備をしましょう。
- (2) 決められた時刻になったら席に着き、学習を始めます。
- (3) 授業の始まりは、立ってあいさつをします。

2 授業中

〔机の上の準備〕



- * 筆入れの中には、鉛筆5本、赤青鉛筆1本、消しゴム1個、定規1本（15cm程度）、ネームペンを必ず入れる。
- * 4年生以上は、蛍光ペン1本程度、赤・青ペン
- * 鉛筆は、B（2B）かHBを使う。
家でよく削っておく。
（シャープペンは、筆圧・正しい字形の視点から望ましくないのので、学校には持ってきません。）

〔話を聞くとき〕

- (1) 話をする人の方を見て、最後までしっかりと聞きます。
- (2) 背筋を伸ばして聞きます。

〔発言するとき〕

- (1) 手は高くまっすぐに挙げます。
- (2) 名前を呼ばれたら「はい」と大きな声で返事をしましょう。
- (3) 背筋を伸ばして、最後まではっきりと発言しましょう。
- (4) 名前を呼ぶときは、「〇〇さん」と言うようにしましょう。

声のものさし（声の大きさのめやす）

1の声（ひそひそ）	となりの人と話す声
2の声（小さく）	グループの人に聞こえる声
3の声（はっきり）	教室で発表するときの声
4の声（大きく）	校庭や体育館で発表するときの声

〔本を読むとき〕

- (1) 正しい姿勢で読みましょう。
 - ・背筋を伸ばします。
 - ・本から目を30cmくらい離します。
- (2) 音読は、口形をはっきりとさせて読みましょう。

〔書くとき〕

- (1) 鉛筆を正しく持って書きましょう。
- (2) 正しい姿勢で書きます。
 - ・背筋を伸ばします。
 - ・ノートから目を30cmくらい離します。
 - ・鉛筆を持っていない方の手でノートを押さえます。
- (3) 下敷きを敷いて、ゆっくりと丁寧に書きましょう。
- (4) 直線を引くときは、定規を使います。



3 授業の終わり・授業後

- (1) 授業の終わりは、立ってあいさつをします。
- (2) 後片付けをしっかりと行い、次の学習の準備をしてから休み時間にしましょう。

話し方のきまり

発表のしかたの基本

- *自分の考えを発表するとき
「はい、……です。」 「はい、……と思います。」
- *友だちと同じ考えのとき
「私は〇〇さんの意見に賛成です。そのわけは、……だからです。」
- *友だちと違う考えのとき
「私は〇〇さんの意見に反対です。そのわけは、……だからです。」
- *わからないときやくわしく聞きたいとき
「〇〇さんに質問します。」

発達段階に応じた話し方の基本

低学年：みんなのほうをむいて、大きな声ではっきりと話す。
「はい……です。」 「はい……と思います。」
「〇〇さんとおなじです。」
「〇〇さんとちがいます。」
「〇〇さんに聞きたいことがあります。……についておしえてください。」

中学年：考えをまとめて、だいたいなことをおとさずに話す。
「はい……です。」
「はい……と思います。そのわけは……だからです。」
「私は〇〇さんの意見に賛成です。そのわけは……だからです。」
「〇〇さんにつけたします。……について……と思います。」
「私は〇〇さんの意見に反対です。そのわけは……だからです。」
「〇〇さんに質問します。……はどういうことですか。」

高学年：相手にわかるように話す。
相手がわかっているか確かめながら話す。
「はい、……です。」
「はい、……と思います。そのわけは……だからです。」
「私は〇〇さんの意見に賛成です。そのわけは……だからです。」
「私は〇〇さんの意見に反対です。そのわけは……だからです。」
「〇〇さんは……と言いましたが、わたしは……と思います。」
「〇〇さんに質問します。……はどういうことですか。」
「……のところをもう一度言ってください。……とはどういうことですか。」
「私は〇〇さんの意見につけたします。……について……と思います。」

声のものさし

1の声 (ひそひそ) 	となりの人と話す声
2の声 (小さく) 	グループの人に聞こえる声
3の声 (はっきり) 	教室で発表するときの声
4の声 (大きく) 	校庭や体育館で発表するときの声